

命を育む活動

活動を行う団体

まきのはら水辺の楽校 <http://www4.tokai.or.jp/pwsn1/>

(静岡県、牧之原市、島田市、吉田町、浜松市、静岡市、牧之原市内幼保小中学校、こどもエコクラブ、里なび、JRRN、一般社団法人 地域環境資源センター、一般社団法人 全日本釣り団体協議会、公益財団法人河川財団、一般財団法人 公園財団、NPO 法人 ERIC 国際理解教育センター等と連携して実施)

活動の概要

山から海までのふるさとの水を題材に、水のつながりを知る活動を展開している。また、水域植物である稲を題材に、1年間を通して土づくりから収穫までの活動を実践し、水源の保護を図るとともに、全ての動植物が水の恩恵を受けていることを知る取組を行っている。

「子どもの水辺」としての登録を受けているほか、こどもエコクラブとしても活動をしている。

水生生物調査や釣り、潮干狩りなど、水辺での自然体験を通じて、ふるさとの里山の水辺環境の保全や、牧之原市内に生息する貴重な動植物の保護について学んでいる。



また、米の脱穀とトーマ作業(粃選別)や、野菜の植え付け、収穫、芋切干しづくりなど、四季を通して稲作・農業体験等を行っており、自然界のサイクルを体験している。

優良事例のポイント

命の源である「水」を活動のテーマとして、地域資源である里山、里地、河川、海をつなぐ活動を行っている。

また、過疎化等により増加している放棄農地の有効活用として、地権者の承諾を得て、農地の再生化対策として、地域の人たちと作物を育てる活動にも取り組むなど、地域資源を活用し、人と環境との循環・共生について理解を深めるきっかけとなる活動を行っている。